

若年性脳梗塞の診療、成因、予後に関する 多施設共同前向き登録研究

SKYSTER
Shiga Kyoto Young Stroke Evaluation Registry

講師・尾原知行からのメッセージ

本邦ではまだデータの少ない
若年性脳梗塞の多施設前向きレジストリーです。



キーワード

若年性脳梗塞、機序、動脈解離、長期予後、遺伝子多型解析

研究の概要

本邦における若年性脳梗塞の診療実態、発症機序の特徴や、長期予後を明らかにする。

研究内容

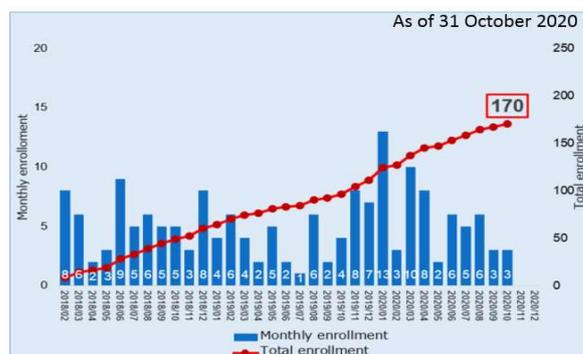
2018年2月から京滋地域の1次脳卒中センター5施設(京都府立医大、京都第一日赤、京都第二日赤、済生会滋賀県、京都岡本記念)で入院治療を行った発症14日以内の若年性脳梗塞(18-50歳)を前向きに登録しています。プロトコールに沿った網羅的な画像検査、血液検査を行い、より正確な脳梗塞の原因、発症機序を明らかにします。また発症後3年までの長期予後追跡を行います。画像データ、血清・DNA検体は研究事務局に保管し、遺伝子多型解析など様々な解析を行えるような体制を整備しています。

2020年10月末までに170症例が登録されました。これまでの解析では、若年者では脳動脈解離、特に頭蓋内動脈解離が最も多い原因であることがわかり、3か月後予後調査では、5%に脳卒中再発がみられました。約70%は後遺症のない状態に回復しましたが、40%は元の仕事に復帰できず、精神的問題を抱えている患者も少なくないことがわかりました。

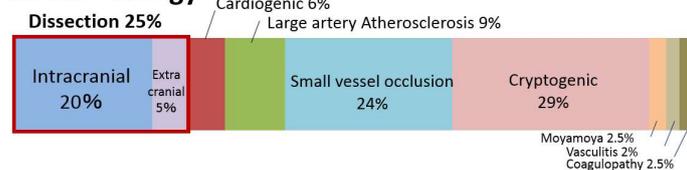
今後の展望

2022年末の研究登録終了までにわが国最大規模の詳細なデータを有する若年性脳梗塞のレジストリーになることが見込まれます。本邦における若年性脳梗塞の特徴や長期予後を明らかにするだけでなく、未知の若年性脳梗塞の危険因子を明らかにすることを目指します。

Current status of enrollment



Stroke Etiology



3-month outcome

